

## 2 本市の現状

### 第3期行田市地域福祉推進計画の評価について

#### 第3期行田市地域福祉推進計画評価委員会

日時:令和6年3月26日(火) 出席委員9名

#### 【委員による主な意見】

##### ○「ふくし総合窓口について」

- ・職員の能力向上のための研修を充実してほしい。

##### ○移動販売について

- ・高齢者など買い物に行けない方のために、今後拡充してほしい。
- ・近所の高齢者の安否確認をするためにも、利用させてもらっている。
- ・自治会長、民生委員、地域で話し合い、場所の変更を検討した方がよい。
- ・スーパーが行っている配達サービスと組み合わせて拡充してはどうか。

##### ○デマンドタクシーについて

- ・利用時間の制限があり、利用できないことがあるので、改善してもらいたい。
- ・高齢者への声掛けや接し方につながるので、タクシー会社に認知症サポーター養成講座を受講してもらいたい。

##### ○権利擁護について

- ・問題が複雑多様化しているので、地域住民で我が事として支えあいをしていく必要がある。
- ・国の指針では、成年後見制度における中核機関を設置することが求められている。  
行田市では、重層的支援体制、トータルサポート体制、社協での相談を実施し、中核機関の機能がある程度整っているにも関わらず、成年後見制度利用促進基本計画が策定されていない。次期の地域福祉推進計画では計画を盛り込んでもらいたい。
- ・権利擁護の観点から、財産管理も含め相談できる体制が整っていないと、空き家が増えて、空洞化してしまうので、専門職の育成が必要である。
- ・高齢者の急な入院や体調の変化などの際に、キーパーソンを探すのが大変である。財産の問題もあることから、早いうちに考えることが必要で、市民の考え方を改めるような、意識づけが必要である。

##### ○その他

- ・認知症の疑いがある方がいたら、近所の方が声掛けしてくれるような環境づくりを。
- ・日頃から隣近所との付き合いがないと、問題が起きた時に対処ができない。挨拶がある地域は、犯罪が少ないと思う。